

# インディアカ

インディアンが遊んでいたものを、ブラジルでスポーツ化され、西ドイツで公認競技として採用されたスポーツです。インディアカと呼ばれる赤い羽根のついた白いボールを、バレーボールと同じように打ち合う4人制の楽しいスポーツです。

## コート

◎バドミントンコートを利用  
(13.4m×6.1m)

## 人員

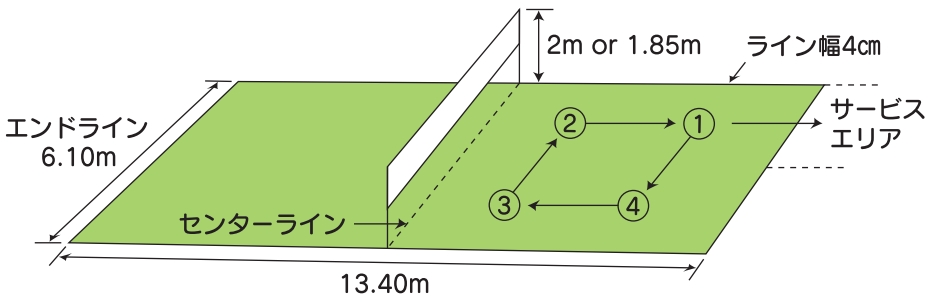
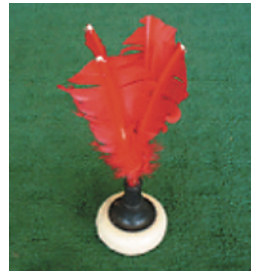
◎競技は1チーム4人

## 用具

- ◎インディアカ(羽根)
- ◎支柱  
バドミントンボールに補助ボールをつけるか2mの専用ボールを使用  
(支柱高さ男子・混合2m、女子1.85m)
- ◎ネット  
バドミントン用ネットまたは専用ネットを使用



インディアカ  
(長さ25cm、重さ25g)





インディアカ(羽根)

## 競技方法(主なルール)

- ①ジャンケン等により、勝者がサービス権またはコート of のいずれかを選ぶ。
  - ②得点は、3セットマッチで2セット先取。1セット21点のラリーポイント制。20点ジュースの場合、2点先取した方が勝ちとなる。
  - ③サービス権を得たチームは、右回りに1ポジションづつ移動(ローテーション)する。
  - ④サービスは、1回エンドライン後方の右半分の位置からアンダーハンドで打つ。エンドラインに触れることはできない。ネットに触れて相手コート内に入ったときは、再びサービスを行う。
  - ⑤インディアカは、3回以内のプレーによって相手コートに返す。(インディアカがネットに触れた場合1回だけプラスできる)
  - ⑥各セットごとコートを交替する。第3セットはいずれかのチームが11点先取したとき交替する。
- ルールは基本的には6人制のバレーボールに準ずる。

サービスするときは  
インディアカの黒い  
軸の部分をつかむよ  
うに軽く持つ



## サービスはアンダーハンド

